

東京オリ・パラに向けた平成30年度上半期の取組状況及び下半期の取組予定

資料2

平成30年9月7日時点

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組予定
<p>1 スポーツの推進</p> <p>①競技力向上対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成30年の国民体育大会や平成33年の「三重とこわか国体」に向けて、中学・高校の運動部やジュニアクラブ、大学運動部、企業・クラブチームの強化指定をはじめ、全国トップレベルにある成年選手を強化指定し、その強化活動を支援 ジュニア・少年選手の育成を図るとともに、三重とこわか国体後も継続して三重県の競技スポーツを担う人材育成につなげるため、優れた指導者の養成と指導体制の構築に向け「チームみえ・コーチアカデミー」の取組を開始 トップアスリートが県内に定着できるよう、競技団体と緊密に連携しながら、就職を支援する取組を加速 <p>事業費：340,000千円</p>	<p>平成30年度上半期(4月～9月)の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校運動部4校4部、高校運動部30校68部、ジュニアクラブ18クラブ、大学運動部、企業・クラブチーム17部を強化指定するとともに、全国・国際スポーツ大会で活躍し「チームみえ」の一員として「三重とこわか国体」での活躍が期待できるトップアスリート6名を強化指定し、その強化活動を支援 「チームみえ・コーチアカデミー事業」の取組を4月から開始 このうち、優れた指導者の養成のための講習などを中心とする「みえコーチアカデミー」については、4月以降3回、延べ4日間、計14コマの講習や演習を実施 また、専門スタッフを配置・派遣し指導体制の構築を図る「みえマルチサポートシステム」についても、競技・指導等の実情に応じて、6月から順次実施 有力な大学運動部などに三重の魅力や強みを積極的にPRするなど、トップアスリートの獲得と県内定着に向け、競技団体、県体育協会とともに就職支援の取組を実施 <p>【競技力向上対策課】</p>	<p>強化指定した、中学校運動部、高校運動部、ジュニアクラブ、大学運動部、企業・クラブチーム、トップアスリートに対し、引き続きその強化活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 「みえコーチアカデミー」による優れた指導者の養成や、「みえマルチサポートシステム」による指導体制の構築の取組を引き続き実施するとともに、平成31年度取組方法についても検討 平成31年4月採用に向け、就職支援の取組を競技団体、県体育協会とともに引き続き実施 <p>【競技力向上対策課】</p>
<p>② スポーツを通じた地域の活性化支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京オリンピック・パラリンピック等のキャンペーン誘致の実現に向けて取組を実施(カナダシンク口連盟については協定締結に向けて準備) 東京オリンピック・パラリンピックフラグツアール一関連事業(歓迎イベント、市町巡回、小中学校訪問)を実施し、東京オリンピック・パラリンピックを県民の皆さんに周知、スポーツ推進の機運を醸成 スポーツによる誘客推進に関する研修会等の開催やスポーツイベントへのスポーツ応援隊の派遣を行い、市町等の取組を支援することでスポーツを通じた地域の活性化を促進 <p>事業費：6,398千円</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピック・バラリンピック フラグツアールにて開催</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッグツアール一関連事業(フラッグ展示、フラッグ訪問イベント、小中学校訪問イベント)を9月1日から同月28日まで県内各地で実施 東京2020オリンピック聖火リレーの県内実施について検討するため、実行委員会を設置するとともに、第1回会議を9月6日に開催 4月～8月にかけて、スポーツイベント8件・延べ34名の応援隊の派遣を実施 <p>【スポーツ推進課】</p>	<p>東京オリンピックの事前キャンプ誘致に向けて、引き続き積極的に情報収集やPR活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック聖火リレーの県内実施について、10月以降も引き続き検討 引き続き応援隊の派遣を行い、地域スポーツイベントの運営支援の取組を実施 <p>【スポーツ推進課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組予定
<p>2 障がい者スポーツの推進</p> <p>①障がい者スポーツ推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大会で活躍できる選手を発掘・育成するため、選手への練習プログラムの提供等を行うとともに、東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致に向けて、県内施設での競技団体の合宿や世界大会等の大規模大会の誘致を実施 <p>事業費：15,243千円</p>	<p>・国内外の大会をめざす身体障がい者の選手の発掘・育成に取り組んでおり、競技指導者、理学療法士、管理栄養士、障がい者スポーツ医等が一体となり、選手へ練習プログラムを提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内競技団体から強化指定を受けた選手は、強化合宿や大会への参加が必要となるため、三重県在住の強化指定選手に対して旅費を補助 ・9月12日から20日までの9日間、三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場においてイギリスバス水泳チームが合宿を実施することが決定。また、合宿期間中に、三重県選手・指導者によるイギリスバス水泳チームの練習風景の見学やイギリスバス水泳チームとの交流会を実施予定 <p>【障がい福祉課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大会をめざす身体障がい者の選手に引き続き練習プログラムを提供し、選手の競技力向上を図る ・三重県在住の強化指定選手に引き続き強化合宿や大会への参加のための旅費を補助 ・12月1日から2日まで、三重交通Gスポーツの杜鈴鹿水泳場において開催される第35回日本パラ水泳選手権大会について、選手・スタッフの移動等を支援 ・引き続き東京パラリンピック事前キャンプ地誘致に向けた取組を実施 <p>【障がい福祉課】</p>
<p>②早期からの一貫した教育支援体制の整備</p> <p>事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省の「学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解(心のバリアフリー)の推進事業」を活用し、障がい者スポーツの活動を通じて、障がいのある子どもと障がいのない子どもが体を動かす喜びを共有することにより、障がい者に対する理解を促進 ・県立特別支援学校教員を対象とした障がい者スポーツの実技講習会を実施 ・障がい者スポーツの普及と選手の育成を図るため、県立特別支援学校ポッチャ交流試合を実施 <p>事業費：3,432千円</p>	<p>・特別支援学校教員を対象とした障がい者スポーツ実技講習会を実施(7月2日 参加者10名)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学校と近隣の小中学校等との障がい者スポーツ(陸上競技、ポッチャ等)の活動を通じた交流を実施(事業指定期間において適宜実施) <p>【特別支援教育課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者スポーツに係る出前授業等の実施 ・障がい者スポーツに積極的に取り組む先進地視察の実施 ・障がい者スポーツを通じた交流及び共同学習の実施をさらに推進 ・県立特別支援学校ポッチャ交流試合の実施 <p>【特別支援教育課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組予定
<p>3 文化の振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国の文化芸術振興施策をふまえ、本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に向け発信するため、生誕200年を記念した「幕末維新を生き延びた旅の巨人 松浦武四郎」展を総合博物館で開催(9月15日～11月11日)するとともに、三重ゆかりの文豪横光利一の生誕120年を記念した「川端康成と横光利一展」等を開催(10月27日～12月16日) <p>事業費：241,020千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県立文化施設等の公演や展覧会、イベント等について「beyond2020 プログラム」の認証を受けることにより、文化庁が運営する文化情報ポータルサイト(多言語)を活用して国内外へ情報を発信 <p>【文化振興課、県立文化施設】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本県の優れた歴史・文化資産等を国内外に向け発信するため、生誕200年を記念した「幕末維新を生き延びた旅の巨人 松浦武四郎」展を総合博物館で開催(9月15日～11月11日)するとともに、三重ゆかりの文豪横光利一の生誕120年を記念した「川端康成と横光利一展」を県立美術館で開催(10月27日～12月16日) <p>【総合博物館、県立美術館】</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「beyond2020 プログラム」の認証組織として、県内に拠点がある文化団体や企業等を対象に同プログラムの認証を行うとともに、活用促進に向けた取組を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「beyond2020 プログラム」の認証を行うとともに、本県が認証した事業を県ホームページへ掲載することにより、県内外への情報発信を開始(5月～) <p>【文化振興課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、県内市町や文化団体等に対して「beyond2020 プログラム」の仕組みを活用して情報発信することのメリット等を説明し、活用を促進 <p>【文化振興課】</p>
<p>4 農林水産業の振興</p> <p>① 農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信力の強いラグジュアリーホテル等や富裕層をターゲットとするプロモーション活動を展開し、県産農林水産物の評価や魅力を高め、東京オリ・パラで使用される食材としての地位確保に向けた取組を実施 <p>事業費：3,858千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリパラ三重県農林水産協議会平成30年度第1回全体会を開催(5月30日) ・首都圏ホテルでの三重県フェアを開催(7月17日～9月14日) ・三重県フェア開催に向けた首都圏ホテル等バイヤー等三重県へ招へい(6月20日～22日など4回) ・東京オリパラスポンサーとの食とスポーツの連携に係る協定を締結(7月19日) ・東京オリパラスポンサーと連携した量販店フェアを開催(7月20日～8月20日) ・東京オリパラ三重県農林水産協議会第2回全体会を開催(9月5日) ・フルーツ専門店でのみえ一番星プロモーションを開催(9月17日、27日) ・フラッグツアード関連事業として実施される東京都庁内食堂のランチフェアで三重県ご当地メニューを提供(9月中の3日間) <p>【フードイノベーション課】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏ホテルでの三重県フェアを開催(10月～11月) ・フルーツ専門店での伊勢茶プロモーションを開催(平成31年1月21日) ・東京オリパラ三重県農林水産協議会第3回全体会を開催(平成31年3月) ・東京2020大会を契機とした三重県農林水産品販売拡大戦略を策定 <p>【フードイノベーション課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組予定
<p>② 東京オリ・パラを契機とした県産食材販売拡大チャレンジ事業</p> <p>・食材調達を担うケータリング事業者に向けたレセプションでのPRなど、プロモーション活動を展開し、東京オリ・パラを契機とする県産農林水産物の販売拡大に向けた取組を実施</p> <p>事業費：4,142千円</p>	<p>平成30年度上半期(4月～9月)の取組</p> <p>・首都圏ホテルでの「東京2020大会を契機とした三重県産品披露レセプション・商談会(仮称)」の開催に向けた準備を実施(4月～9月)</p> <p>【フードイノベーション課】</p>	<p>下半期(10月～3月)の取組予定</p> <p>・首都圏ホテルでの「東京2020大会を契機とした三重県産品披露レセプション・商談会(仮称)」を開催(10月)</p> <p>【フードイノベーション課】</p>
<p>③ 「広がれGAPの輪」推進支援事業</p> <p>・GAPの取組拡大を図るため、指導員の育成や認証取得支援、農業大学校での学習環境の整備等に取り組みとともに、有機JAS認定取得の支援などを実施</p> <p>事業費：21,903千円</p>	<p>・GAP実践を推進・支援する指導員を育成するため、「JGAP指導員基礎研修」を開催(6月28～29日、参加者28名)</p> <p>・GAP認証取得を指導・支援するリーダー指導員を育成するため、「団体認証研修」を開催(7月24～25日、参加者13名)</p> <p>・GAPの実践や認証取得を推進するため、生産者等を対象とした研修会などを開催(15回、参加者261名)</p> <p>・地域GAP推進チームを核としたGAP認証取得や実践に向けた指導・支援(84回)</p> <p>・有機JAS認証取得を推進するため、「有機JAS制度入門研修」を開催(8月6日、参加者39名)</p> <p>・三重テラスでの「三重県GAP&AEL食材フェア」を開催(9月1日～31日)</p> <p>【農産園芸課】</p>	<p>・GAP実践を推進・支援する指導員を育成するため、「JGAP指導員基礎研修」を開催(11月14～15日)</p> <p>・GAP認証取得を指導・支援するリーダー指導員を育成するため、「HACCPセミナー」(11月21～22日)、「団体認証研修」(11月29～30日)を開催</p> <p>・ホテル・ドウ・ミクニ(新宿区)でのGAP認証取得食材等を使用した三重県フェア(平成31年2月頃の1ヶ月間)を開催</p> <p>・有機JAS認証取得を推進するため、「有機JAS生産行程管理責任者育成講習会」を開催(11月6～7日)</p> <p>【農産園芸課】</p>
<p>④ 東京オリ・パラに向けた三重の農産物販売力強化促進事業</p> <p>・東京オリ・パラにおける多様な需要に対して、米・野菜・花き花木等の県産農産物を供給するため、首都圏の食品関連事業者、緑化事業者など、実需者をターゲットとするプロモーションや保存性の高い加工野菜の商品化などの取組を実施</p> <p>事業費：4,382千円</p>	<p>・都内の米穀販売店と「プレミアムな『結びの神』」のプロモーションをさらに進めるため、取扱量を前年より拡大することなどで合意。また、都内有名百貨店での中元商品に採用された。</p> <p>・全農三重県本部とGAP認証を取得した団体が生産したなばなの冷凍商品の流通について協議</p> <p>【農産園芸課】</p>	<p>・都内の米穀販売店を通じ、百貨店等での新たな販路を開拓するとともに、都内での知名度向上を図る。</p> <p>・なばなのを含め東京オリ・パラで提供を目指す夏野菜以外の野菜について、冷凍試験を行い、栄養価や加工適性などを試験し、アピールポイントを整理したうえでケータリング事業者等への提案を実施</p> <p>・花き花木については、展示会への出展等で首都圏の緑化事業者等へのPRを実施</p> <p>【農産園芸課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月~9月)の取組	下半期(10月~3月)の取組予定
<p>⑤東京オリ・パラへの畜産物供給体制構築事業</p> <p>・東京オリ・パラを契機とした様々な需要に対して、県産畜産物を供給するため、高品質ブランド和牛の生産体制の構築や、エコフイード等の利活用によるBCC畜産物供給体制の構築等の取組を実施</p> <p>事業費：16,333千円</p>	<p>高品質ブランド和牛の供給拡大に向けて、プレミアム繁殖雌和牛候補牛の繁殖農家への譲渡に向けた育成、と畜由来受精卵の乳牛等への移植や交雑種卵移植技術の開発を実施。また、体外受精期間を延長する基礎技術の開発を実施</p> <p>・畜産農家、民間事業者、行政等が参画し、設立したエコフイード等利活用研究会や三重県食品産業振興会等を通じたエコフイード等実態調査を引き続き実施。肥育豚・採卵鶏へのエコフイード給与試験に着手</p> <p>【畜産課】</p>	<p>畜産研究所で出生したプレミアム繁殖雌和牛候補牛の繁殖農家への譲渡に向けた育成。と畜由来受精卵の乳牛等への移植や交雑種等の活用による和牛2卵移植技術の開発を継続。また、体外受精卵の保存期間を延長する基礎技術の開発を継続</p> <p>・エコフイード等実態調査結果を基に、畜産農家と食品系廃棄物排出事業者等との新たなマッチング調整を開始</p> <p>・エコフイード等利活用研究会において、食品残さ等の未利用資源の利活用に係る検討や現地勉強会を実施</p> <p>・肥育豚・採卵鶏へのエコフイード給与試験を継続して実施</p> <p>【畜産課】</p>
<p>⑥JGAP家畜・畜産物等の導入加速化推進事業</p> <p>・JGAP家畜・畜産物の認証取得を加速するため、指導人材の育成等による普及・指導体制の強化などの取組を実施</p> <p>事業費：4,304千円</p>	<p>・JGAP家畜・畜産物等の認証制度の啓発普及に努めるとともに、JGAP指導員基礎研修を開催(7月26~27日、参加者29名)</p> <p>・地域機関に設置した「地域GAP推進チーム」が中心となり、JGAP家畜・畜産物等の認証取得に取り組み生産者の掘り起しと、JGAP認証取得を目指す農場に対して取り組み状況に応じた指導・助言を継続して実施</p> <p>・三重県で初のJGAP家畜・畜産物の認証審査が7月20日、21日に2農場で実施され、8月6日に認証取得</p> <p>【畜産課】</p>	<p>引き続き、農場HACCPの認証取得農場あるいは取組農場に対して、「JGAP家畜・畜産物」の認証取得に向けた重点的な指導を実施するとともに、これからGAPに取り組み生産者に対し、「GAP取得チャレンジシステム」を支援ツールとして、GAPの実践の普及を実施</p> <p>【畜産課】</p>
<p>⑦東京オリ・パラを契機とした県産材の販売力強化促進事業</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック関連施設等への県産材の取組</p> <p>事業費：2,801千円</p>	<p>東京オリンピック・パラリンピック関連施設等への県産材の取組</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックの採用や販路拡大につなげるためのブランド化に向け、FSC森林認証のグループ化やブランド基準の作成に着手</p> <p>【森林・林業経営課】</p>	<p>前年度に開発した木製品等を活用し、県内事業者と連携して、東京オリンピック・パラリンピック関連施設等の発注者や木材関係者等への訪問、首都圏における建築・建材関係の展示会への出展等により県産材のPRを実施</p> <p>【森林・林業経営課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組予定
<p>⑧東京オリ・パラに向けたみえの水産物販売力強化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピックの食材調達基準に適合した水産物の供給をめざし、持続可能性を確保した漁業の認証取得に向けた支援を行うとともに、食材調達基準を満たす県産水産物の販売力強化等に向けた取組を実施 <p>事業費：3,514千円</p>	<p>・県内の漁業団体を対象に、MSC認証にかかる説明会を開催</p> <p>・県内の養殖業者(1社)を対象に、AEL認証にかかる説明会、相談会を開催</p> <p>・県内の漁業者(1社)を対象に、MEL認証にかかる研修会を開催</p> <p>【水産資源・経営課】</p>	<p>・県内の養殖業者を対象に、MEL・AEL認証にかかる研修会を開催</p> <p>・10月に、首都圏の飲食店にて流通業界のバイヤー等を招いた県産水産物のPRイベントを実施</p> <p>・2月に新豊洲市場近辺にて、仲卸業者を対象とした県産水産物の展示商談会を開催</p> <p>【水産資源・経営課】</p>
<p>5 三重県企業の参画に向けた支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO-HACCP研修会等(食品産業振興会による取組) ・HACCP義務化や東京オリンピック・パラリンピックをはじめ、海外グローバル化への対応等を見据えた研修会を実施 <p>事業費：- 千円</p>	<p>・東京オリ・パラを契機とした食品関連事業者における販路拡大等対策の一環として、「食品衛生7S研修会(入門・基礎編)※」を開催(7月25～26日、参加者：食品製造事業者等59名)</p> <p>※食の安全・安心を守るための必須条件ともいわれる7S(整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌・躰・清潔)に関する基本的事項を習得するための研修</p> <p>【中小企業・サービ産業振興課】</p>	<p>・東京オリ・パラを契機とした食品関連事業者における販路拡大等対策の一環として、次の研修会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ISO-HACCP研修会」(食品の衛生管理手法であるHACCPなどに関する基礎的な知識を習得するためのもの)9月26日(水)、10月4日(木)、10月11日(木)、10月17日(水)、10月24日(水)、10月31日(水)、11月7日(水)(7週連続で開催) ・「微生物検査実習会」(食品の衛生管理技術(微生物検査)に関する知識を習得するためのもの)11月7日(水)、9日(金) ・「官能検査実習会」(賞味期限および消費期限等を適切に設定するためのもの)基礎編(1月下旬)、発展編(2月下旬) ・「食品衛生7S研修会(発展編)」1月22日(火)、23日(水) <p>【中小企業・サービ産業振興課】</p>
<p>6 訪日外国人旅行者の誘致</p> <p>①海外プロモーション推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本県の認知度を高め、外国人旅行者の更なる誘客を図るため、重点国・地域での旅行博覧会出展、海外旅行会社へのセールス・商談会の開催、また県内においては旅行雑誌・TV等海外メディアを招請する取組を実施 <p>事業費：11,263千円</p>	<p>・旅行博等</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾(4月20日～23日)、香港(6月14日～17日)、マレーシア(9月7日～9日)、ベトナム(7月9日～17日)、カナダ(6月17日～18日) ・商談会 台湾(6月) 東京 VISIT JAPAN トラベルマート(9月20日～22日) ・セールス 台湾、香港、タイ、ベトナム、フランス、イギリス ・メディア・旅行会社等の取材・視察の招請・受入 <p>16件見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> 台湾、香港、タイ、マレーシア、シンガポール、フランス、ドイツ、アメリカ、カナダ、オーストラリア等 <p>【海外誘客課】</p>	<p>・旅行博等予定</p> <ul style="list-style-type: none"> フランス(3月) ・セールス予定 タイ、フランス ・メディア・旅行会社等の取材・視察の招請・受入予定 台湾、タイ、フランス、イギリス、カナダ、ロシア等 <p>【海外誘客課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組予定
<p>②海外誘客推進プロジェクト事業</p> <p>・インバウンドの拡大を図るため、欧米・アジアからの富裕層等の誘客に取り組むとともに、個人の外国人旅行者(FIT)の増加をふまえたSNS等による情報発信を実施</p> <p>事業費：37,419千円</p>	<p>増加している個人旅行者(FIT)向けの情報発信ツールとして、Facebookおよびインスタグラムを活用した情報発信を実施</p> <p>Facebook(7言語8種) 週1回以上投稿 フォロワー 約119,600人(8月30日現在)</p> <p>Instagram(3言語) 週1回以上投稿 フォロワー 約10,800人(8月30日現在)</p> <p>#VisitMie投稿数 約8,800件</p> <p>・富裕層誘客に向け、フランス及び台湾においてレップを活用したメディアや旅行会社への商品造成等の働き掛け、セミナー等を実施</p> <p>・台湾教育旅行の受入2校68人(新北市立三重高級商工職業学校36人、国立高雄餐旅大学付属餐旅高級中学校32人)(5月)</p> <p>受け入れ推進に向けた商談会参加・セールスコール、台湾国際教育旅行連盟への訪問等を実施</p> <p>【海外誘客課】</p>	<p>・引き続き個人旅行者(FIT)向けの情報発信ツールとしてFacebookおよびインスタグラムを活用した情報発信を実施</p> <p>Facebook(7言語8種) 週1回以上投稿予定 Instagram(3言語) 週1回以上投稿予定</p> <p>・富裕層誘客に向けフランス及び台湾においてレップを活用したメディアや旅行会社を対象とするセミナー開催や日本への招聘等を実施予定</p> <p>・台湾教育旅行の受入実施予定</p> <p>【海外誘客課】</p>
<p>③「#VisitMie」キャンペーン事業</p> <p>・伊勢志摩サミットの効果を継続させるとともに、日本を訪れる外国人旅行者の旅行ニーズの多様化や地域の特徴を生かした体験型観光への需要の高まりに対応するため、SNSを活用した投稿参加型キャンペーンの実施や外国人向け体験プログラムの流通促進の取組を実施</p> <p>事業費：11,520千円</p>	<p>・「#VisitMie」キャンペーン インスタグラムを活用して、旅行者による投稿参加型キャンペーンを実施し、当県関連の投稿を促すことでさらなる情報量の拡大およびフォロワーを獲得する取組を展開</p> <p>第1回 9月下旬から実施予定</p> <p>・個人旅行者(FIT)の誘客を促進し県内外外国人旅行者の宿泊増に向け、体験プログラムの流通促進の取組を実施。県内の体験プログラムをPRする紙媒体ツール(パンフレットやチラシ等)を作成し、京都と大阪の観光案内所(関西ツーリストインフォメーションセンター)に配架</p> <p>観光案内所スタッフへの研修と販売促進活動を実施予定(9月下旬)</p> <p>【海外誘客課】</p>	<p>・「#VisitMie」キャンペーン インスタグラムを活用して、旅行者による投稿参加型キャンペーンを実施し、当県関連の投稿を促すことでさらなる情報量の拡大およびフォロワーを獲得する取組を展開</p> <p>第2回 12月上旬より実施予定</p> <p>・引き続き外国人向け体験プログラムの流通促進の取組を実施</p> <p>OTAやSNS等のウェブを活用した県内の体験プログラムのPRを実施</p> <p>観光案内所のスタッフによる対面でのPRを実施</p> <p>【海外誘客課】</p>
<p>④ゴルフツーリズムの確立による新規需要開拓事業</p> <p>・日本初となる「IAGTO第一回日本ゴルフツーリズムコンベンション(三重県開催)」の好機を生かし、富裕層やスポーツに関心の高い欧米からの観光客誘致を図るため、ゴルフをテーマにした誘客プロモーションを展開</p> <p>事業費：20,680千円</p>	<p>・三重県のゴルフツーリズムを海外に発信するため、海外のゴルフツアー商談会に出展</p> <p>フィリピンAGTC出展(4月22日～24日) アメリカNAC出展(6月24日～27日)</p> <p>・海外からのゴルフ客の受入に関する知識や蓄積を図るため、MOUを締結したパタヤと交流事業を実施</p> <p>フレンドリーゴルフツアー実施(5月7日～11日) キャプティ選手権に参加(9月15日～18日)</p> <p>【海外誘客課】</p>	<p>・国際ゴルフツアーオペレーター協会が主催する、日本初の「IAGTO第1回日本ゴルフツーリズムコンベンション」を開催(9月28日～10月3日)</p> <p>三重県内のゴルフ場及び周辺地域の観光資源のPRを通じて情報発信</p> <p>・MOUを締結したパタヤとの交流事業</p> <p>パタヤでのフレンドリーゴルフツアーへ送客予定(10月23日～28日)</p> <p>・欧米豪のバイヤーを対象としたファームトリップを実施予定</p> <p>【海外誘客課】</p>

<p>平成30年度取組概要</p>	<p>平成30年度上半期（4月～9月）の取組</p>	<p>下半期（10月～3月）の取組予定</p>
<p>⑤バリアフリー観光推進事業</p> <p>・パースナバルバリアフリー基準に基づき、宿泊施設等に対する調査・アドバイス及び県内の観光ボランティアガイドに対する実践研修を実施 事業費：2,108千円</p>	<p>・パースナバルバリアフリー基準に基づき、宿泊施設等に対する調査・アドバイスを実施 【観光政策課】</p>	<p>・障がい者、高齢者、外国人への対応のため、パースナバルバリアフリー基準に基づき、観光ボランティアガイドに対する実践研修を開催予定（2回） ・パースナバルバリアフリー基準に基づき、宿泊施設等に対する調査・アドバイスを実施予定（年間10回） 【観光政策課】</p>
<p>⑥クルーズ船寄港に向けた受入体制の充実・強化事業</p> <p>・観光の産業化を進めるとともに、クルーズ船寄港時における受入体制の充実・強化に向けた取組を実施 事業費：2,234千円</p>	<p>・港での受入対応のさらなる充実と乗船客の県内各地への誘客にオール三重で取り組む官民一体の広域組織として「三重県クルーズ振興連携協議会」を設立（4月27日） ・外国人乗船客が利用しやすい寄港地づくりに向け、「おもてなし部会」、「誘客促進部会」で具体策を検討（5月24日、8月7日） ・英国船籍「ダイヤモンド・プリンセス」の四日市港寄港時における外国人乗船客専用案内窓口の設置。その際、通訳ボランティア（20名程度）が協力（6月24日、9月16日） 【観光魅力創造課】</p>	<p>・クルーズ船社、旅行会社に対する県内寄港地観光ツアーの提案（11月、平成31年2月） ・英国船籍「ダイヤモンド・プリンセス」の四日市港、鳥羽港寄港時における外国人乗船客専用案内窓口の設置及び通訳ボランティアの活用（10月～11月） 【観光魅力創造課】</p>
<p>7 東京オリ・パラの気運醸成</p> <p>①第76回国民体育大会開催準備事業</p> <p>・三重とこわか国体、三重とこわか大会の開催決定イベントを、東京オリンピック・パラリンピックフックラッグ歓迎イベントと同時に開催し、より大規模なイベントとすることで、国体・大会の周知を実施 事業費：1,500千円</p>	<p>・7月18日に開催された（公財）日本スポーツ協会の理事會において、第76回国民体育大会の開催地を三重県とすること、会期を2021年9月25日（土）から10月5日（火）までの11日間とすることが決定 ・三重とこわか国体の開催決定に伴い、第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）の開催及び会期についても決定（会期は、2021年10月23日（土）から10月25日（月）までの3日間） ・9月1日に「三重とこわか国体・三重とこわか大会開催決定記念みえのスポーツフォーラム2018」を「東京2020オリンピック・パラリンピックフックラッグツアーフックラッグ歓迎イベント」と同時に開催 ・当該イベントにおいては、ロンドンオリンピック銅メダリストであり、平成21年から平成23年にかけて、国体の成年女子背泳ぎ100mを3連覇した寺川綾さんの記念講演を行うとともに、三重とこわか国体・三重とこわか大会のイメージソングやとこわか大会の披露、県民運動（とこわか運動）開始宣言を行うことで、県民の皆さんの両大会への参加意識の向上と開催に向けた機運醸成を図った 【総務企画課】</p>	<p>・「三重とこわか国体・三重とこわか大会開催決定記念みえのスポーツフォーラム2018」において実施した県民運動（とこわか運動）開始宣言を契機として、両大会の県民運動（とこわか運動）を開始 ・県民の皆さんの積極的かつ自発的な「とこわか運動」が一つでも多く行われるよう、市町や競技団体、学校や企業、NPO、スポーツチームなど、あらゆる主体に幅広く取組を働きかけ 【総務企画課】</p>

平成30年度取組概要	平成30年度上半期(4月～9月)の取組	下半期(10月～3月)の取組予定
<p>②「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参加及び取組の実施</p> <p>・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」への参加及び継続的な取組となるよう市町の小型電子機器等の回収体制構築を支援</p> <p>事業費：251千円</p>	<p>・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」に県内全市町が参加(8月)</p> <p>・夏のエコフェア2018(7月21日～22日)および秋のキッズエコフェア(9月30日)に四日市市と連携して、使用済小型電子機器の回収イベントを実施予定</p> <p>【廃棄物・リサイクル課】</p>	<p>・市町等と連携して、使用済小型電子機器の回収イベントを実施予定</p> <p>・「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」終了後も、使用済小型電子機器の回収が継続して実施されるよう、市町等の回収体制の構築体制を支援</p> <p>【廃棄物・リサイクル課】</p>
<p>③「東京オリ・パラ」をキーワードにした広報の実施</p> <p>・「三重で活躍する～人が輝くスポーツの推進～」を、今年度の全庁をあげて積極的に情報発信に取り組む「重点広報テーマ」としており、スポーツに関する県事業の広報を行う際に「東京オリ・パラ」のキーワードを活用した広報を実施</p> <p>事業費：－ 千円</p>	<p>・「東京オリ・パラ」につながるスポーツイベントとして、平成30年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)を、知事定例会見、県政だより、TV、ラジオ、新聞広告、県ホームページ、SNS等の広報媒体で重点的に広報を展開</p> <p>・聖火リレー三重県実行委員会設置、フラッグツアーフラッグ歓迎イベント等の、東京2020オリンピック・パラリンピックの関連イベントについて、知事定例会見で発表するなど積極的に情報を発信</p> <p>【広聴広報課】</p>	<p>・引き続き、スポーツに関する県事業の広報を行う際に「東京オリ・パラ」のキーワードを活用した広報を実施</p> <p>【広聴広報課】</p>
<p>④自転車道のPR</p> <p>・市町の観光関係課との連携会議を開催し、自転車道の整備状況や国からの情報を共有するとともに、県内の自転車イベントを通じて太平洋自転車道の取組のPRを実施</p> <p>事業費：－ 千円</p>	<p>・太平洋岸自転車道(三重県区間)のPRパンフレットを作成</p> <p>【道路企画課】</p>	<p>・路面表示等の整備を行う道路管理課と連携し、関係建設事務所及び市町関係部局との連携会議を開催し、情報共有を図る予定</p> <p>・県内の自転車イベントを通じて、太平洋岸自転車道をイベント参加者に対してPRする予定</p> <p>【道路企画課】</p>

<p>平成30年度取組概要</p>	<p>平成30年度上半期（4月～9月）の取組</p>	<p>下半期（10月～3月）の取組予定</p>
<p>8 国への提言・提案、要望活動</p> <p>・平成31年度予算に向け国への提言・提案、要望活動を実施</p> <p>事業費： - 千円</p>	<p>5月15日、16日に国への提言・提案活動を実施</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピック等を契機とした交流促進や、スポーツを通じた地域活性化を担う人材の育成など、地方自治体のさまざまな取組を推進するため、「スポーツによる地域活性化交付金（仮称）」を創設するなど、地方自治体の政策実現に向けた支援について、国への提言活動を実施 【総務企画課ほか】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした国際水準GAPの認証取得促進など、グローバル化に対応する強い農林業の構築に向けた支援の充実・強化について、国への提言活動を実施 【農産園芸課ほか】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックにおける真珠の利用促進について、国への提言活動を実施 【水産資源・経営課】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックに向けた地方における訪日外国人旅行者誘致の取組への支援の充実について、国への提言活動を実施 【観光政策課ほか】</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックを契機とした文化芸術施策の強化について、国への提言活動を実施 【文化振興課】</p>	<p>・状況に応じ、要望活動を実施</p>
<p>9 その他</p> <p>・東京オリンピック・パラリンピックに関連する情報の収集を的確に行うとともに、首都圏における三重県の情報発信がよりスムーズに、より効果があげられるように、適切なサポートを実施</p> <p>事業費： - 千円</p>	<p>・首都圏において発信される関連情報を収集 【東京事務所】</p>	<p>・関連情報の収集を継続するとともに、大会を契機に実施する三重県の情報発信について、担当部局と連携しながら、首都圏での活動をサポート 【東京事務所】</p>